

文章の要旨をえらぼう

小6／文章を読んで、筆者の主張（要旨）としてもっとも適切なものを1つ選びましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 スポーツのきまりを よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つ選びましょう。

バレーボールでは、昔はサーブ権を持つチームしか点を取れなかった。そのため試合が長引き、終わる時間が読めなかった。今は、どちらのチームもラリーに勝てば点が入るきまりに変わり、試合の時間が短くそうようになった。スポーツのきまりは、見る人やする人に合わせて作り変えられてきたのだ。

- 1 スポーツは、きまりを守って正々堂々で行うことが大切だ。
- 2 スポーツのきまりは、選手のけがを防ぐために変えられてきた。
- 3 スポーツのきまりは、道具の進歩に合わせて変えられてきた。
- 4 スポーツのきまりは、楽しむ人のために作り直されてきた。

2 手で食べるを よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つ選びましょう。

インドなどでは、食事を手で食べる人が多い。はしやフォークを使わないのは、ぎょうぎが悪いからではない。ごはんとおかずを指先で混ぜ合わせ、温かさや手ざわりも味わうという考えがあり、食べるときは右手を使うといった作法もある。食べ方のちがいは、それぞれの土地の考え方に根ざしているのだ。

- 1 手で食べる習慣には、その土地の気候と作物が関わっている。
- 2 手で食べる習慣には、その土地の考え方と作法がある。
- 3 手で食べる習慣は、昔の食べ方がそのまま残ったものだ。
- 4 手で食べる習慣は、道具が手に入らない土地で生まれた。

3 里山の林を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つ選びましょう。

林は、人が手を入れずにそっとしておくほうが、豊かな自然が守られると思われがちだ。しかし、かつての里山では、人々が木を切ってまきにし、落ち葉をかいて肥料にしていた。そのおかげで林の中まで日が差しこみ、カタクリなどの草花が育った。人が手を入れなくなった林では、こうした草花がへってきている。

- 1 里山は、人が手を入れ続けることで、草花が育ってきた。
- 2 里山は、人が手を入れ続けることで、動物がふえてきた。
- 3 里山は、人が手を入れずにおくことで、動物がふえてきた。
- 4 里山は、人が手を入れずにおくことで、草花が育ってきた。

4 紙の橋を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つ選びましょう。

紙でつくった橋に、どれだけ多くのおもりをのせられるかを競った。はじめは、あつい紙を何まいも重ねて、二十個のおもりをのせた。次は、うすい紙を折り曲げて、三角の柱をならべてみた。のせられたおもりは同じ二十個だったが、使った紙は半分ほどですんだ。

- 1 紙の橋は、形を工夫すると、多くのおもりをのせられる。
- 2 紙の橋は、あつく重ねると、多くのおもりをのせられる。
- 3 紙の橋は、形を工夫すると、少ない紙ですむ。
- 4 紙の橋は、あつく重ねると、少ない紙ですむ。

文章の要旨をえらぼう【こたえ】

小6／文章を読んで、筆者の主張（要旨）としてもっとも適切なものを1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：4

点の入り方が変わり『試合の時間が短くそうようになった』とあり、『見る人やする人に合わせて作り変えられてきた』とまとめています。

2 答え：2

手ざわりも味わう『考えがあり』『右手を使うといった作法もある』とあります。ほかは、本文と食いちがうか、本文に書かれていません。

3 答え：1

木を切り落ち葉をかいたおかげで『日が差しこみ…草花が育った』。手を入れなくなると『草花がへってきている』とあります。ほかは、本文と食いちがうか、本文に書かれていません。

4 答え：3

三角の柱にしても『のせられたおもりは同じ二十個』だったが『使った紙は半分ほどですんだ』とあります。

読み取るコツ

「しかし」「実は」のあとや、終わりの一文に、筆者の考えが置かれることが多くあります。